

縁をつなぎ 安心をとどけるお寺

清元院だより

第26号

【蓮が紡ぐご縁】

蓮を育て始めて十年目。五十鉢、十五種類
の蓮が今年もよく咲きました。

次々と蓮を見においでの方があります。写真
を撮る人、ついでに本堂に上がってお参りする
人、高齢者施設でのお出掛けの人、お檀家さん
もそうでない人も色々です。私の都合がつけば
茶菓を出してゆっくりしてもらいます。蓮のご縁
がゆっくり広がっていきます。

先日、「和尚さん、蓮がいっぱい咲いて人に喜
んでもらえたら、またやる気が出るだ」と声を
かけてもらい嬉しい気持ちでした。なぜならこの
蓮は、三月末の雪の降る寒い中「はすとも」の
ボランティアさんたちが泥んこになって植え替
えてくださったものだから、その皆さんも一緒
に褒めてもらったように思えたからです。

蓮が紡ぐ有難いご縁。これからも大切に
して参ります。

誌上法話

以西ふるさとめぐり⑫

おてらおやつクラブ

のんのんさま⑨

イベント情報・お知らせ

発行：曹洞宗大梁山清元院 住職 井上英之
佛歴二五六八年 令和7年8月1日

■日本海新聞「潮流」のコーナーに、2022(令和4)年7月から計12回連載されたものを紹介します。今回は第9回目(2023(令和5)年3月12日掲載分)です。

(第3種郵便物認可)

日本海

✉ gakupei@nnn.co.jp

「お寺の2階建て理論」というものがある。「未来の住職塾」塾長、松本紹圭氏が考えたものだ。お寺の仕組みを2階建ての家に例えてある。

1階は従来通りのお寺。お寺の土台となる供養が行われる。ご先祖や家族を大切に「先祖教」とでもいうべきもので、死者中心の世界。家に生まれた時からそのお寺と宗旨に属し檀家となる「所属型コミュニティ」によって維持される。檀家と宗旨は親から子へ自動継承され、家の宗旨は「ふるさと」的「なものと言えるかもしれない」。

1階では同時に「お寺離れ」が進行している。墓じまいや永代供養が増え、葬儀をせず火葬場へ直行する直葬も行われることもある。檀家でいることを負担に感じ、檀家を離れたという人も増えてきた。

一方、2階では、苦しみを除き、学びや人生の糧となる、生き方としての「仏道」が行われる。つまり生者中心の世界。友人の紹介や仕事のつながり、オンラインなどから、個人が直接お寺とつながる「接続型コミュニティ」が作られる。お寺に所属していないから、複数のお寺と掛け持ちしても構わない。自分の意思による「主体的」にながらだ。

また2階では「仏教ブーム」が起こっている。座禅や写経、法話やお寺の朝掃除などに関心が高まり、仏教的な生き方や価値観を求めて人が2階に集

お寺の構造は2階建て

清元院住職 井上 英之



まるようになった。

さらに松本氏は言う。お寺を取り巻くコミュニティは「所属する」ものから「接続する」ものへ変化している。求められる住職の役割も「しぼる人」から「つなぐ人」へと変わり、住職の価値も、いかに人々の「よく生きる」に貢献できるかどうか問われている…と。

清元院の1階は「安心」「参加と説明」を大切に、「思いと祈りを伝える」供養になるようリノベーションしてきた。あまり使われてこなかった2階の活動は、誰でも気軽にお寺に接続できるよう交流サイト(SNS)やホームページ、寺報などで根気よく発信を続けた。月例の「座禅会・写経の会・お寺ヨガ」の開催はそれぞれが80回を超え、その甲斐あってか、その他さまざま活動も合わせると、本年度は延べ約800人の方が清元院と縁を結んでくださった。

でも松本氏はさらに言う。「新しいことをすればいいのではない。むしろこれまで続けてきたことをいかにそのまま守り、受け継ぎながら、新しく見せるか」が大切だ」と。

それは簡単なことではないとすぐ分かる。けれども、お寺離れが進む今、お寺を守るために、時代の変化から逃げることなく、考え行動し続けることができるかどうか、私自身が問われている。

(琴浦町)

以西ふるさとめぐり⑫ 「国実観音堂」

四体もの観音像

左から三体の観音様は「聖観世音菩薩」(しょうかんぜおんぼさつ)です。一番左の金色の観音様は、「倉吉仏師・竹原武七」作、嘉永五年(1852年)・江戸末期)、願主:川上多左衛門と記されています。堂内の最も古い寄進板には「観音堂豊寄進人」享和二年(1802)・江戸後期)と記されており、おそらくこの年にお堂が創建され、真ん中の二体の彩色の観音様が安置されたと考えられます。220年以上前のことです。

右側の金色の観音様は「慈母観音」様です。安置された年代は不明ですが、幼い子どもの命を守り供養する願いが込められています。

医学も科学も発展していない時代に国実部落の人々がひたすら祈りを込めて手を合わせたであろう観音様に、ぜひお参りしてみてください。





おやつが届くまで



おてらおやつクラブ 《社会貢献》

清元院は「おてらおやつクラブ」に参加しています

「おてらおやつクラブ」は、お寺にお供えされるさまざまなおそなえを、仏さまからの「おさがり」として頂戴し、子どもをサポートする支援団体の協力の下、経済的に困難な状況にあるご家庭へ「おすそわけ」する活動です。活動趣旨に賛同する全国のお寺と、子どもやひとり親家庭などを支援する各地域の団体がつながり、お菓子や果物、食品や日用品を届ける活動です。

【みなさまへのお願い】

◆趣旨にご賛同くださる方は、無理のない範囲でご協力をお願いします。もちろん従来通り、ご先祖にお供えされたいものを供えていただいで結構です。

- ◆子どもが喜ぶお菓子 ◆持ちのする果物 ◆お米
- ◆乾麺(そうめん・うどん・パスタ・ラーメン等)
- ◆レトルト食品 ◆缶詰 ◆日用品(洗濯・食器洗剤等)

◆清元院が「おてらおやつクラブ」を通し責任を持って必要とする場所へ届けさせていただきます

【その他清元院からのお願い】

＊お酒・ビール類のお供えは、他のモノに替えていただけるとうれしいです

おやつこの声

●おすそ分けありがとうございました。洗剤が入っており、とても嬉しかったです。普段は買ってあげられないフルーツは家族全員でいただきました。物価高の中、このような形で支援していただき本当にありがとうございます。ありがとうございました。

●仏様にお供えされたものをおすそ分けいただけることを幸せに感じます。本当に嬉しいです。皆々様に感謝し、子供にも話しながら大切にいただきましたと思います。

のんのんさま ⑩ 元気な子どもたちを紹介 かがやく宝ほとけの子



(中央左) 表葉さん (6歳)
(中央右) 表実さん (5歳)

琴浦町大父

表啓一さん・由加理さんのお子さん。

《お父さん・お母さんより》

ひいおばあちゃんの一週忌の一枚。ひ孫たち四人が笑顔で手を合わせていました。みんなが泣いていたお葬式からもう一年経つのですね。

子どもたちは毎朝仏壇に線香をあげてから学校や園に出発します。お菓子や果物も頂いたら、まずは仏壇へ。ひいおばあちゃんからお菓子をもらっていたのが、あげる側になりました。

ひいおばあちゃんと一緒に過ごした日々をいつまでも忘れず、感謝の気持ちを大切に育ってほしいと思います。

お地藏様作り教室

大人気のイベントです。二部に分けて本堂でゆったり行います。

- 9月21日(日)
- 午前の部 9時半～
- 午後の部 13時半～
- 各20名限定
- 参加費 一人2500円



みんなのお彼岸法要

あなたが手を合わせたい人、名前を呼びたい人、おもいを届けたい人。ご先祖でもいい。ご先祖でなくてもいい。お檀家でなくてもいい。人でなくてもいい(ペット/もの)。すべての枠を取り払いあなたが手を合わせたい人(もの)に手を合わせる法要です



9月23日(火)秋分の日
13時半～16時半
■ 供養料 5千円
・ワークショップ①②に分かれて故人(ペット/もの)を偲んだあと、法要で故人(ペット/もの)の名前を読み上げます。

- ◎ WS①「撫で描きWS」
- 【講師】ふくどめのぶこさん
- ◎ WS②「想いを語るcafe」

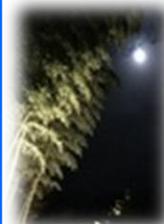
【進行】清元院住職

※詳細はHP・SNS・公LINEより

月明かり茶会

・中秋の名月と朗読、お茶席、中国茶・はす茶、竹林ライトアップ、朗読劇、法話

- 10月6日(月)
- 18時半～
- 参加費 500円



死の体験旅行

「あなたにとって本当に大切なものは何か」を感じたり考えたりするワークショップです。死を仮想体験することで生をクローズアップし、本当の自分と向き合う心豊かな時間です。

- 10月26日(日)
- 12月6日(土)
- 14～16時
- 参加費 3千円



禅の集い

坐禅と法話で心と体を調えます

- 11月7日(金)
- 13時半～16時半

- 会場：倉吉市八屋 極楽寺
- 参加費 無料 ※別添チラシ有
- 申し込みは清元院へ

清元院 de

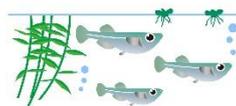
BONI マルシェ

今年もやります！

- 8月13・14日
- 開始 9時
- 終了 13日 15時
- 14日 14時

【メダカすくい】

- ・ 本堂前
- ・ 一人5匹まで
- ・ 金魚すくいと同じやり方
- ・ 銀色のメダカ約600匹
- ・ ラメ入り夜桜約400匹



【出店一覧】

○ ジラソーレカフェ

・ 各種クレープ&ドリンク

○ ウッドペッカー

・ スパゲティナポリタン&かき氷

○ ワク珈琲

・ コーヒー&ドリンク

○ おむすび屋ひとむすび

・ 各種おむすび

○ チームTTB

・ ワンコイン整体 お寺で

カイロプラクティック

○ Orsop

・ ハンドマッサージ

○ ACherry

・ 焼き菓子

○ みんなももこになる似顔

絵屋

○ もえとこうた ・ 占い

○ 以西ポロシャツ販売

・ 本堂ろう下

【お知らせ】

◆本堂トイレリニューアル

全て洋式 暖房便座 ウォッシュレットに改修しました。(※男性小便器以外) 手すりも設置しました。安心してご利用いただけます。



◆清元院公式LINEの登録を

お願いします！

(注) 最低でも家族に1人は登録をお願いします。(同居でなくてもOK)

皆様のご要望にお応えして、6月から清元院公式LINE(無料)を始めました。重要なお知らせの案内、24時間受付の相談などお役に立てればと思います。

- ▼ 法事予約 ▼ お寺の最新情報
- ▼ ご相談 (24時間受付)
- ▼ 行事・イベント案内
- ▼ 重要なお知らせの案内



① 右のQRコードを読み込み、緑のバーを2、3回押す

② 左の画面になったら登録完了



清元院

住職 井上 英之

〒689-2522 鳥取県東伯郡琴浦町宮木 57

TEL09049238768 fax 0858-55-7064

メール inotera1@gmail.com

facebook :井上英之 清元院

鳥取 清元院 検索



清元院 HP